

**製品名: ASCL1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07211**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	ASCL1 ASH1 BHLHA46 HASH1
別名	Achaete-scute homolog 1 (ASH-1; hASH1; Class A basic helix-loop-helix protein 46; bHLHa46)
遺伝子 ID	429.0
SwissProt ID	P50553
免疫原	アミノ酸配列範囲: 190-236 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

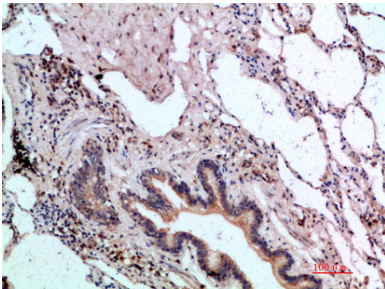
**背景**

achaete-scute ファミリー bHLH 転写因子 1 (ASCL1) Homo sapiens この遺伝子は、転写因子の basic helix-loop-helix (BHLH) ファミリーのメンバーをコードしています。タンパク質は、E ボックス (5'-CANNTG-3') に結合して転写を活性化します。効率的な

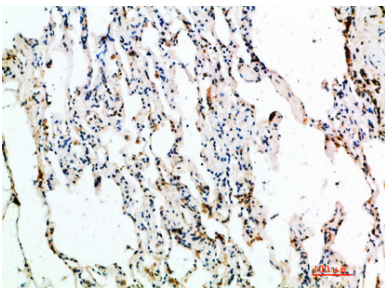
DNA 結合には、他の BHLH タンパク質との二量体形成が必要です。このタンパク質は、ニューロンのコミットメントと分化、および嗅覚ニューロンと自律神経ニューロンの生成に役割を果たしています。この遺伝子の変異は、まれに先天性中枢性低換気症候群 (CCHS) の表現型に寄与する可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: ほとんどの CNS 領域の特定の神経系統と PNS のいくつかの系統の発生の初期段階で役割を果たす可能性があります。嗅覚ニューロンと自律神経ニューロンの生成に必須です。E ボックス (5'-CANNTG-3') に結合して転写を活性化する。類似性: 1 つの基本ヘリックス・ループ・ヘリックス (bHLH) ドメインを含む。サブユニット: 効率的な DNA 結合には、別の bHLH タンパク質との二量体形成が必要である。TCF3 とヘテロ二量体を形成する。、

## 研究分野

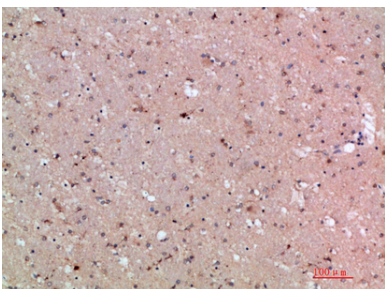
## 画像データ



パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された